

【施設状況】

グループ名称	芹田公民館									
指定管理者名	芹田地区住民自治協議会						法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副						
構成施設	3375	芹田公民館								
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	多目的ホール 1、学習室 3、和室 1、工芸室 1、料理教室 1、図書室									
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。									
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芹田地区住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数	3 回	
指定期間	令和8年4月1日	～	令和13年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成30年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
		利用者数	人	43,025	29,083	31,060	29,162	94%	
		利用率	%	30.2	30.9	31.9	34.1	107%	
		(特記事項) 利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均(図書室を除く) 令和4年度の利用者数は、近隣の集会施設の長期休館に伴い、その集会所の利用者が当公民館に流れてきたことにより増加							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・芹田公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・芹田公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・芹田公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 1回／年 発行(全戸配布)。ホームページによる情報発信、公民館活動の広報の実施。 ・講座の開催案内にあたり、広報ながのの配達にあわせたチラシの回覧(年12回)。 ・マスメディア(市民新聞)の活用。 ・主に親子学級について、チラシに二次元コードを掲載し、ネットでの受付も可能とした。							

3

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		3
	(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。			
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座:40講座(66回) 講座参加者数:1,698人 うち アンケート回答者数1,657人 満足:82% やや満足:8% やや不満:10% 不満:0% (満足、やや満足の合計 90.0%)			
	(1) 良好とする評価 ・手話体験講座を当館利用サークル団体に講師を依頼して開催した。興味をもたれた方が多くいて、継続するよう求められた。 ・四季を感じられるよう、ひな人形、五月人形、雨期の傘、夏の提灯、秋のハロウィン等を装飾している。 ・予約システムの導入に際し、説明会はもとより、個人説明を予約化して実施して、移行を適正に実施できた。 ・学習室1のピアノを更新したことで、コーラス系のサークルが多いことから、貸館利用者が増加した。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・成人学校の受付初日は約150名が来館する状況で、混雑が避けられず、多くの方を待たせてしまった。 ・裁縫サークルが利用した後に針が落ちていて、危ないと注意を受けた。 ・書道…墨を給湯室のシンクで洗う人がいる。そば打ち…適正な掃除がされず、粉が床に舞っている。			
《対応措置》 指定管理者において次の対応します。 ・整理券方式を採用する。 ・マグネット方式の針キャッチを導入した。 ・貸館ルールを継続的に説明する。				

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
指定事業	利用料金	3,400,000	利用料金	3,871,313	歳入	使用料	18,290	使用料	5,800		
	指定管理料	18,208,000	指定管理料	18,208,000		雑(納付金)	2,649,138	雑(納付金)	2,588,073		
	委託料	0	委託料	0		行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料	0		
	販売収入等	0	販売収入等	0		貸付料	181,818	貸付料	181,818		
	その他収入	100,000	その他収入	114,739		その他	0	その他	0		
						利益配分	0	利益配分	0		
	収入計	21,708,000	収入計	22,194,052		計	2,849,246	計	2,775,691		
	人件費	11,616,000	人件費	11,593,338	歳出	指定管理料	18,208,000	指定管理料	18,208,000		
	設備管理費	1,304,000	設備管理費	1,366,218		委託料	0	委託料	0		
	備品購入費	0	備品購入費	1,755,868		需用費	2,584,367	需用費	2,520,113		
	修繕費	140,000	修繕費	424,256		役務費	0	役務費	0		
	光熱水費	2,593,000	光熱水費	2,645,909		使用料・賃借料	137,321	使用料・賃借料	143,180		
	事業費	3,940,000	事業費	4,271,340		修繕費	0	修繕費	0		
	事務経費	2,332,000	事務経費	2,510,415		工事請負費	0	工事請負費	0		
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費	0	備品購入費	0		
	その他	950,000	その他	1,086,600		その他	0	その他	0		
						利益配分	0				
	支出計	22,875,000	支出計	25,653,944		計	20,929,688	計	20,871,293		
	指定事業損益	-1,167,000	指定事業損益	-3,459,892							
	利益配分を除く 指定事業損益	-1,167,000	利益配分を除く 指定事業損益	-3,459,892							
	自主事業	収入		収入							
		支出		支出							
		自主事業損益	0	自主事業損益	0						
	損益	-1,167,000		-3,459,892	差引	-18,080,442		-18,095,602			
	人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									45.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分			確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	4
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員2人(2人)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の 維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☒	
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタ リング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

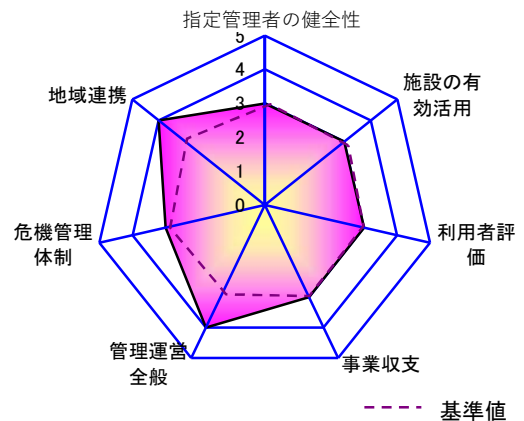
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域 連 携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価 <
--------------	--	--	---

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	66
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	



評価理由	【管理運営全般】を「4」と評価した理由 ・季節に応じた館内の装飾により、親しみやすい施設環境を整えていること。 ・Wifiの導入やプロジェクターの整備等、サービス向上につながる取組を実施したこと。を評価した。 【地域連携】を「4」と評価した理由 ・住民自治協議会や地域公民館と連携して、研修会やスポーツ大会等を実施しているほか、親子学級から成人学校など幅広い年代が参加できる講座を広く展開していること。 ・男性に向けた講座や地域内の学生との交流事業など地域連携を深める独自の事業を展開していること。を評価した。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。		

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 住自協の印刷機を利用させていただき事で、講座のチラシをカラー化することができた。講師の写真を載せるなど、カラー化はインパクトがあり、受付日に募集人数に達している状況にある。 ② 業務の効率化に対する取組み 予約システムの導入に伴って、長野市から提供のあった説明動画を1階、2階で移行開始まで上映した。そして利用者の疑問を事前に把握したことで、滞りなく移行できた。 ③ その他 ・隣接者より、公民館側の植栽から白アリが発生していると苦情があった。植栽帯に殺虫効果の薬剤を散布して対応した。 ・ピアノの更新で貸館の利用頻度が向上した。 ・Wifiの導入とプロジェクターの購入で、インターネット上の資料を用いた講座が可能となった。 ・駐車場の満車対策として、特に選挙の期日前投票期間中は選挙を優先し、成人学校以外は貸館をクローズして対応した。		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 長野市と芹田住自協の協議が円滑に進められ、第3次指定管理業務が滞りなく進めることができた。		
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	B
① 評価理由 ・講座の募集に達しないものがなく、計画したものは全て実施でき、その内容も好評で、多くの利用者から支持されている。 ・施設の新しいさや、教育に整った環境を当館の売りとして、予約システムを活用して他のサークルを取り込んでいく。 ② 次年度以降の取組み ・7年度実施した子ども達向けの自習室は失敗に終わったが、チラシ等PR方法を研究して、次年度に再チャレンジする。		